

平成 30 年度 上富良野町の全国体力・運動能力等調査結果について

平成 31 年 1 月 24 日

I 調査の概要

- (1) 子供の体力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力の向上に係る施策の結果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善等に役立つ。

2 調査対象学年 町内小学校第 5 学年、中学校第 2 学年の全児童生徒

3 調査事項

(1) 実技に関する調査

小学校	中学校
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ

(2) 質問紙調査 運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

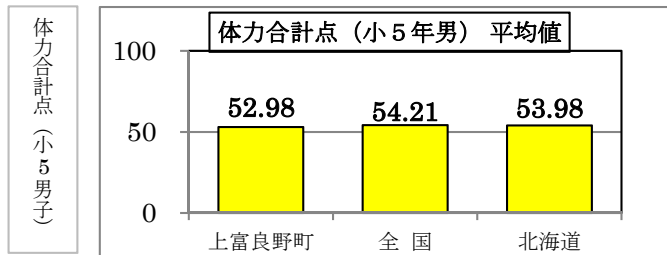
4 調査実施日 平成 30 年 4 月から 7 月末まで

5 調査を実施した全体の状況 (参加人数)

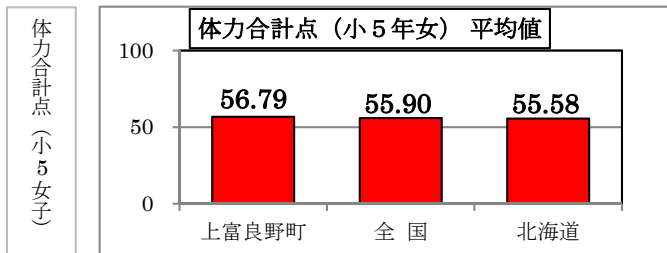
	小学校 (男子)	小学校 (女子)	中学校 (男子)	中学校 (女子)
上富良野町	43	51	36	53
全国	529,820	507,706	465,944	448,231
北海道	12,825	12,460	12,730	12,287

II 調査の結果

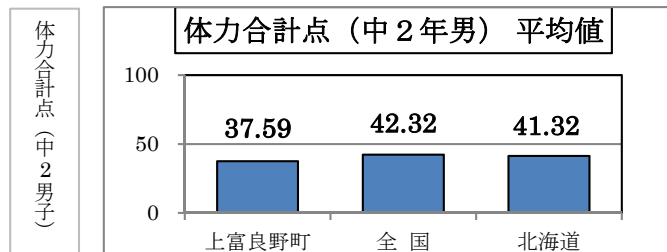
1 実技に関する調査 (全国より+2ポイント以上は、大きく上回った)



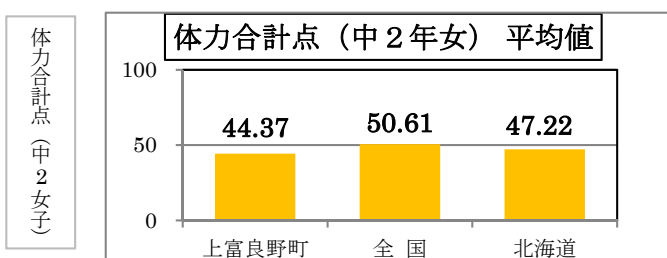
小学 5 年男子は、体力合計点で全国平均・全道平均をやや下回っている。8 種目中 4 種目で全国平均を上回った。総合評価 A の児童が 16.7% で、全国の 12.9% を大きく上回っている。



小学 5 年女子は、体力合計点で全国平均・全道平均をやや上回っている。8 種目中 4 種目で全国平均を上回った。特に、立幅跳びが T 得点で 5 ポイント、反復横とびが 3.3 ポイントと大きく上回っている。



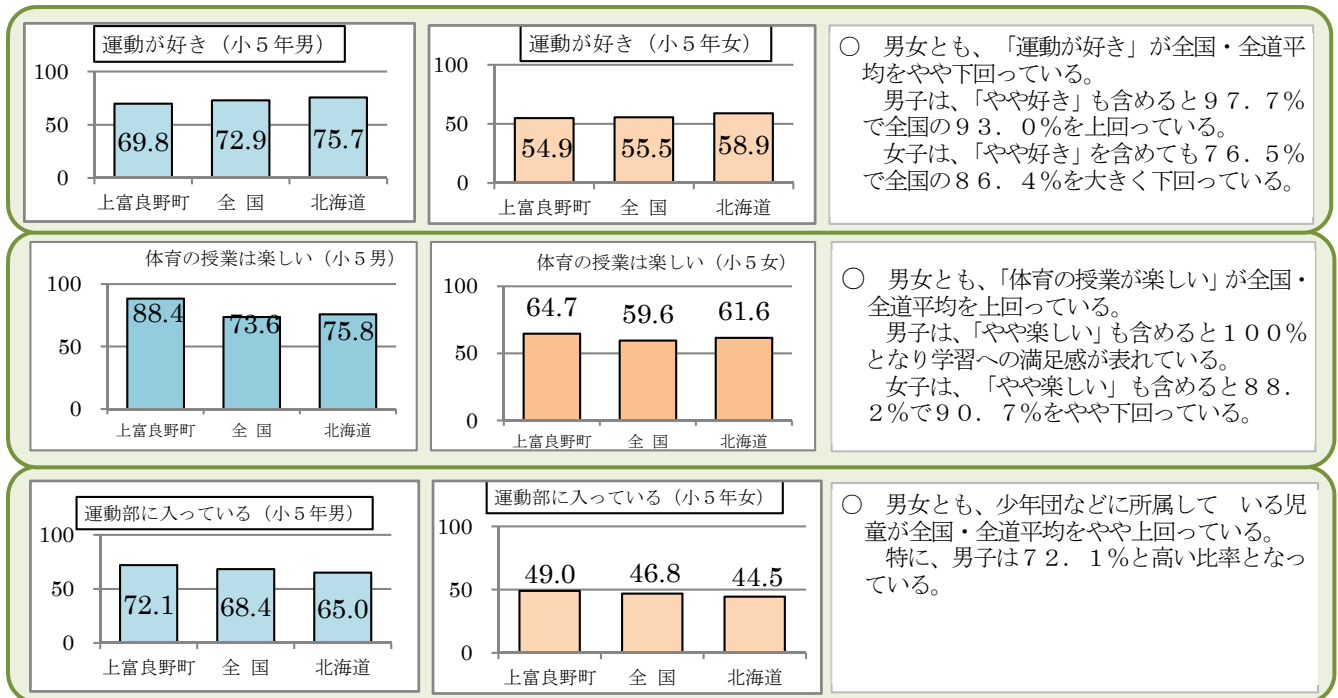
中学 2 年男子は、体力合計点で全国・全道平均を大きく下回っている。全 8 種目中 2 種目で全国平均を上回った。反復横とびが大きく下回っている。総合評価 A の生徒が 9.4% で、全国の 8.4% を上回っている。



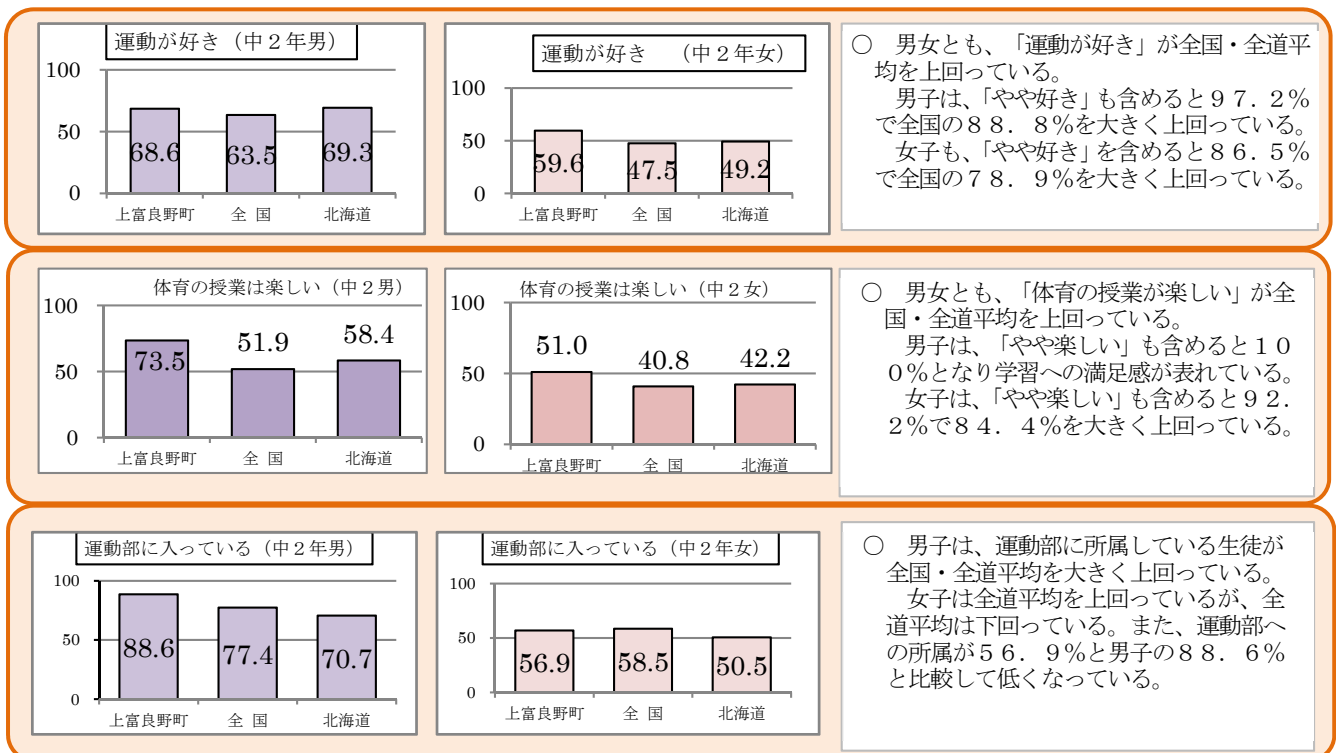
中学 2 年女子は、体力合計点で全国・全道平均を大きく下回っている。全 8 種目中 2 種目で全国平均を上回った。反復横とび・シャトルランが大きく下回っている。総合評価 A の生徒が 16.3% で、全国の 32.6% を大きく下回っている。

2 質問紙調査

(1) 小学校



(2) 中学校



3 今年度の全体的な傾向

◎ 本町の児童生徒は、体力合計点では、小学女子が全国平均をやや上回り、小学男子が全国平均をやや下回り、中学男女が大きく下回っている。総合評価A該当者が、小・中学男子で全国平均を上回っている。種目では、小学生が握力・反復横とび・立幅跳びが、男女とも大きく上回った。中学生は、握力・長座体前屈が男女とも上回った。
小学校においては、運動の特性に合わせた体育の授業の工夫や、休み時間・放課後などでも運動時間を確保する取組、中学校においては、目標をもたせた授業づくりや運動部の活動内容の充実により、児童生徒の運動に対する意欲が高まっている。